

「東北電力 第37回中学生作文コンクール」 審査結果および表彰式の開催について

最優秀賞・文部科学大臣奨励賞に
岩手県一関市立巖美中学校3年 佐藤 龍太(さとう りゅうた)さん

当社は、次世代層支援活動の一環として、昭和50年より、東北6県および新潟県の中学生の皆さんを対象として、作文を通じて自分の将来や地域の未来について考えていただくことを目的に「東北電力 中学生作文コンクール」を実施しております。本コンクールは文部科学省、各県教育委員会および報道各社のご後援をいただきながら、今年で37年目を迎えました。

今回、地域の未来を担う中学生の皆さんに、基本テーマを「今、伝えたいこと」として募集したところ、東北6県および新潟県の中学校552校から、22,738編の応募がありました。その中には、3月に発生した東日本大震災を経験した中学生の皆さんが今抱えている想いや、自分たちの生まれ育った地域、家族、友人などへ向けた気持ちを表現した作品も多く寄せられています。

応募いただいた作文については、各県における一次審査会を経て、11月14日(月)に仙台市において最終審査会を実施しました。

その結果、最優秀賞には岩手県一関市立巖美中学校3年佐藤 龍太(さとう りゅうた)さんの作品「命が命を紡ぐ」が選ばれたほか、優秀賞6編、秀賞14編、佳作84編の各賞が決定しました。最優秀賞の佐藤龍太さんの作品には、「文部科学大臣奨励賞¹」も授与されます。

本コンクールの表彰式は、12月1日(木)～12月12日(月)の期間に、各県庁所在地において開催いたします。当日は、受賞者および学校賞の受賞者として各中学校において指導にあられた先生方をお招きするとともに、一次審査員の方々にもご出席いただき講評をいただくこととなっております。

なお、受賞作品²につきましては、後日、当社のホームページ(<http://www.tohoku-epco.co.jp>)に、掲載する予定としております。

当社では、地域の未来を担う子どもたちが、その個性や才能をのびのびと発揮できる環境づくりのために、本コンクールをはじめとした取り組みを行っております。

今後とも、CSR(企業の社会的責任)の視点も踏まえながら、当社の次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」という統一名称のもと、次世代層への支援活動を積極的に進めてまいります。

以 上

- 1 文部科学省が教育や文化・科学の振興に値する作品や事業に対し、奨励の意味を込めて大臣よりその応募の個人や団体に与える賞です。コンクールなどでは、その歴史、参加作品の質等について主催団体の審査が行われたうえで認められるものです。本コンクールでは第23回より授与されています。
- 2 佳作は氏名、題名、学校名、学年のみの掲載となります。

(添付資料)

- 1 「東北電力 第37回中学生作文コンクール」最優秀賞・文部科学大臣奨励賞
受賞作品(佐藤 龍太さん「命が命を紡ぐ」)
- 2 「東北電力 第37回中学生作文コンクール」入賞者一覧
- 3 「東北電力 第37回中学生作文コンクール」表彰式日程一覧
- 4 「東北電力 第37回中学生作文コンクール」審査員名簿
- 5 「東北電力 中学生作文コンクール」応募状況一覧

[参考]

「放課後ひろば」について

当社では、「地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を積極的に支援する」観点から、ロゴマーク「放課後ひろば」を制作し、次世代層への支援活動に力点を置いた活動を積極的に展開しています。このロゴマークのもと、「中学生作文コンクール」をはじめ、プロのオーケストラメンバーが小・中学校を訪問して演奏する「スクールコンサート」などの取り組みを展開しています。

[ロゴマーク]



以上